

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7116

件名	海老名市食の創造館蒸気配管改修工事 (2階・ボイラー室系統)	
履行場所	海老名市中新田四丁目 12 番 2 号	
工期	令和 7 年 6 月 3 日～令和 7 年 9 月 30 日 (120 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	29,040,000 円 (税込)	26,400,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	090 管 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円 (建築一式工事の場合は8千万円) 以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり (第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任 (監理) 技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していることを証する書類の写し。(次の (1) ~ (3) のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書 (経営事項審査) の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働 (雇用) 保険料の領収書の写し (3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書	
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書 (工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>	
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)		開札後、落札候補者は次の書類を F A X で提出してください。 (落札候補者決定の翌開札日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 <u>※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号 (3箇所) にマスキング(黒塗り)をして提出してください。</u>	

海老名市食の創造館蒸気配管改修工事（2階・ボイラー室系統）

内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 海老名市食の創造館蒸気配管改修工事（2階・ボイラー室系統）
2. 工 事 場 所 海老名市中新田四丁目12番2号
3. 工 事 概 要 海老名市食の創造館の老朽化した蒸気配管の改修工事を行うもの。
 (1)建物構造
 鉄骨造2階建て
 (2)工事内容
 ①機械設備
 1階天井：熱風発生装置及び貯湯槽の還り管系統の改修
 2階屋上：熱風発生装置の行き管、還り管の改修
 ボイラー室：ボイラー、貯湯槽及び蒸気ヘッダー系統の行き管、還り管の改修
 上記に伴う、保温及びバルブ等機器類の改修
 ②電気設備
 蒸気配管改修に伴う、照明器具等の取外し・再取付
 ③建築
 蒸気配管改修に伴う、1階天井の撤去・復旧
4. 工 事 期 間 令和7年6月3日 から 令和7年9月30日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
 (1)設 計 図 21 枚
 (2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) 5 枚
6. 数 量 書 (1)数 量 書 21 枚
 ※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	<input type="checkbox"/> 補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単事業		
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	<input checked="" type="checkbox"/> 市担当者 <input type="checkbox"/> 外部委託者		
(3)工程関係			
①工期内施設利用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	給食調理施設として運用中である	安全対策を施し、各関係者の安全確保を図ること
②関連工事、その他工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
③施工時期の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	主たる施工期間は夏休み期間内とすること	(参考)夏休み期間 令和7年7月21日から 令和7年8月26日まで
④施工時間の制限	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		施設運営に支障のないよう留意すること
⑤協議未成立事項	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	■ 有 □ 無	図示(A-1)	受注者において、発注図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること
②交通誘導員	□ 有 ■ 無		
③工事用電力、水の利用	□ 有 ■ 無	受注者対応	
④濁水・湧水処理における特別な対策等	□ 有 ■ 無		
(5) 支給品			
①支給品について	□ 有 ■ 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	□ 有 ■ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	■ 有 □ 無	数量書による	
③その他 (特別産業廃棄物等)	□ 有 ■ 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	■ 有 □ 無	夏休み工事前の施工調査は原則、施設稼働停止日の土日とするが、施設運営に支障のない時間においては平日も可とする	(参考) 平日の現場調査可能時間 調理室：午後 洗浄室：午前 2階、ボイラー室：終日可
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	■ 有 □ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること(F☆☆☆☆使用)
(8) 現場対応			
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に市監督員と協議し、確認をとること		
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
(9) その他			
①適用基準等	■ 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」適用図書による。		
②工事完成図書	■ 海老名市ホームページ検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ■ 海老名市ホームページ営繕課担当事務 「海老名市営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること。		
⑤工事完成時期	蒸気配管の現場施工は試運転も含め、原則夏休み期間中に完了し、8月中に市の確認を受けること ※ただし、電動弁について夏休み期間中に納品できない場合は、既存機器を再取付し、納品後に更新とする。また、その費用を見込んでおくこと		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観 ③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境 ②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境 ③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系 ②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系 ③土木工事により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①排出土 ②コンクリートガラ ③アスファルトガラ ④伐採材 ⑤まだ使用可能な製品 ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず ⑦不要木材 ⑧PCB等の毒性物質 ⑨その他の建設廃材
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼動による騒音 ②工事用車両走行による騒音 ③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音 ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼動による振動 ②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
	(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境 ②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断 ③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境 ④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性 ⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性

□ 設計・施工時に配慮する事項

3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
工事作業機械・車両運行	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計・施工時に配慮する事項

6. 機械設備工事

作業	配慮事項	環境要素
機械設備	低騒音・省エネ型のものを採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③ 3-(1)-④
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
排出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石を使用する。	2-(5)-①②③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	フロン等の適切な管理・処分を行う。	2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和7年度

数量書

工事名称 海老名市食の創造館蒸気配管改修工事（2階・ボイラー室系統）

工事場所 海老名市中新田四丁目12番2号

工期 令和7年6月3日から令和7年9月30日まで

工事概要 海老名市食の創造館の老朽化した蒸気配管の改修工事を行うもの。

(1) 建物構造

鉄骨造2階建て

(2) 工事内容

① 機械設備

1階天井：熱風発生装置及び貯湯槽の還り管系統の改修

2階屋上：熱風発生装置の行き管、還り管の改修

ボイラー室：ボイラー、貯湯槽及び蒸気ヘッダー系統の行き管、還り管の改修

上記に伴う、保温及びバルブ等機器類の改修

② 電気設備

蒸気配管改修に伴う、照明器具等の取外し・再取付

③ 建築

蒸気配管改修に伴う、1階天井の撤去・復旧

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

機械設備工事 細目別内訳

食の創造館		蒸気設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【1階天井】						
(SR)						
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 13SU	8	m			
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 30SU	26	m			
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 40SU	25	m			
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 50SU	5	m			
【2階】						
(S0.3)						
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 50A	9	m			
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 80A	29	m			
(SR)						
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 13SU	14	m			
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 40SU	11	m			
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 50SU	12	m			
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 80SU	5	m			

機械設備工事 細目別内訳

食の創造館		蒸気設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【17-室】						
(S0.2)						
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 80A	11	m			
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 100A	7	m			
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 150A	11	m			
(S0.25)						
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 100A	9	m			
(S0.3)						
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 100A	8	m			
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 125A	9	m			
(S0.7)						
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 50A	14	m			
蒸気・配管用 炭素鋼管(黒) 改修	溶接接合 屋内一般 150A	11	m			
(SR)						
蒸気・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 13SU	2	m			

機械設備工事 細目別内訳

食の創造館		蒸気設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
蒸気・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 20SU	3	m			
蒸気・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 30SU	6	m			
蒸気・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	溶接接合 屋内一般 40SU	3	m			
(共通)						
逃し弁高さ調整用 配管	80A, 100A	1	式			
【1階天井】						
(SR)						
伸縮管継手	複式 40A	1	個			
伸縮管継手	複式 50A	1	個			
管末トラップ装置	20A SUS	1	組			
【2階】						
ヘアアール鉄及びび ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)	10K(フランジ) 80A(外ねじ)	3	個			
(AH-1. 2. 3)						
電動二方弁装置	40A	3	組			
青銅仕切弁	10K(フランジ) 20A	6	個			

機械設備工事 細目別内訳

食の創造館		蒸気設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
蒸気トラップ装置	20A SUS	3	組			
蒸気トラップ装置	50A SUS	3	組			
圧力計	蒸気用	3	組			
【ボイラー室】						
(SB-1)						
ヘアアール鉄及びび ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)	10K(フランジ) 50A(内ねじ)	6	個			
鑄鉄弁-ヘアアール鉄 及びびダクタイル鉄逆止 弁	10K(フランジ・リフト) 50A	6	個			
(SH-1) (S)						
ヘアアール鉄及びび ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)	10K(フランジ) 100A(外ねじ)	3	個			
ヘアアール鉄及びび ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)	10K(フランジ) 125A(外ねじ)	1	個			
ヘアアール鉄及びび ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)	10K(フランジ) 150A(外ねじ)	2	個			
圧力計	蒸気用	6	組			
減圧弁装置A	0.3MP 100-125 減圧弁100A, 逃し弁65A, Yストレーナ125A	1	組			
減圧弁装置B	0.2MP 100-125 減圧弁150A, 逃し弁65A, Yストレーナ150A	1	組			
減圧弁装置C	0.25MP 80-100 減圧弁80A, 逃し弁50A, Yストレーナ100A	1	組			

食の創造館		蒸気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温工事		1	式			別紙 00-0001
【2階】						
(S)						
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 50A	9	m			
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 80A	29	m			
(SR)						
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 20A	14	m			
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 50A	11	m			
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 65A	12	m			
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 100A	5	m			
【3階イ-室】						
(S0.2)						
蒸気管 保温	ロックワール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 80A	11	m			
蒸気管 保温	ロックワール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 100A	7	m			
蒸気管 保温	ロックワール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 150A	11	m			

機械設備工事 別紙明細

食の創造館		蒸気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温工事		1	式			別紙 00-0001
(S0.25)						
蒸気管 保温	ロックワール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 100A	9	m			
(S0.3)						
蒸気管 保温	ロックワール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 100A	8	m			
蒸気管 保温	ロックワール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 125A	9	m			
(S0.7)						
蒸気管 保温	ロックワール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 50A	14	m			
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 150A	11	m			
(SR)						
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 25A	3	m			
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 40A	6	m			
蒸気管 保温	ロックワール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 50A	3	m			
【2階】						
メラアール鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS) 保温	ロックワール 屋外露出 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 80A	3	個			

食の創造館		蒸気設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
錆止め塗装		1	式			別紙 00-0002
【2階】						
(S0.3)						
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 50A	9	m			
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 80A	29	m			
【お伊室】						
(S0.2)						
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 80A	11	m			
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 100A	7	m			
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 150A	11	m			
(S0.25)						
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 100A	9	m			
(S0.3)						
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 100A	8	m			
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 125A	9	m			

機械設備工事 別紙明細

食の創造館		蒸気設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
錆止め塗装		1	式			別紙 00-0002
(S0.7)						
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 50A	14	m			
配管用 炭素鋼鋼管(黒管) 塗装	隠ぺい(蒸気の保温される配管含) 150A	11	m			
計						
配管切断		1	式			別紙 00-0003
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 100A 保温有	2	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 125A 保温有	1	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 150A 保温有	1	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 50A 保温有	1	か所			
計						

食の創造館		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0004
【1階天井】						
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 20A	8	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 40A	26	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 50A	25	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 65A	5	m			
【2階】						
(S0.3)						
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 50A	9	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 80A	29	m			
(SR)						
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 20A	21	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 50A	18	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 65A	12	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 100A	5	m			

機械設備工事 別紙明細

食の創造館		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0004
【17-室】						
(S0.2)						
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 80A	11	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 100A	7	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 150A	11	m			
(S0.25)						
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 100A	9	m			
(S0.3)						
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 100A	8	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 125A	9	m			
(S0.7)						
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 50A	14	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 150A	11	m			
(SR)						

食の創造館		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0004
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 20A	2	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 25A	3	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 40A	12	m			
蒸気・配管用 炭素鋼鋼管(黒) 撤去	溶接接合 屋内一般 50A	1	m			
【2階】						
マレブ#鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS) 撤去 (AH-1.2.3)	10K(フランジ) 80A(外ねじ)	3	個			
電動二方弁装置40	手動ﾊﾞﾙﾌﾞのみ	3	組			
電動二方弁40A	取外し・再取付の上、撤去	3	個			
電動ﾊﾞﾙﾌﾞ弁40A	取外し・再取付の上、撤去	3	個			
【ボイラ室】						
(SH-1)						
マレブ#鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS) 撤去	10K(フランジ) 100A(外ねじ)	3	個			
マレブ#鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS) 撤去	10K(フランジ) 125A(外ねじ)	1	個			

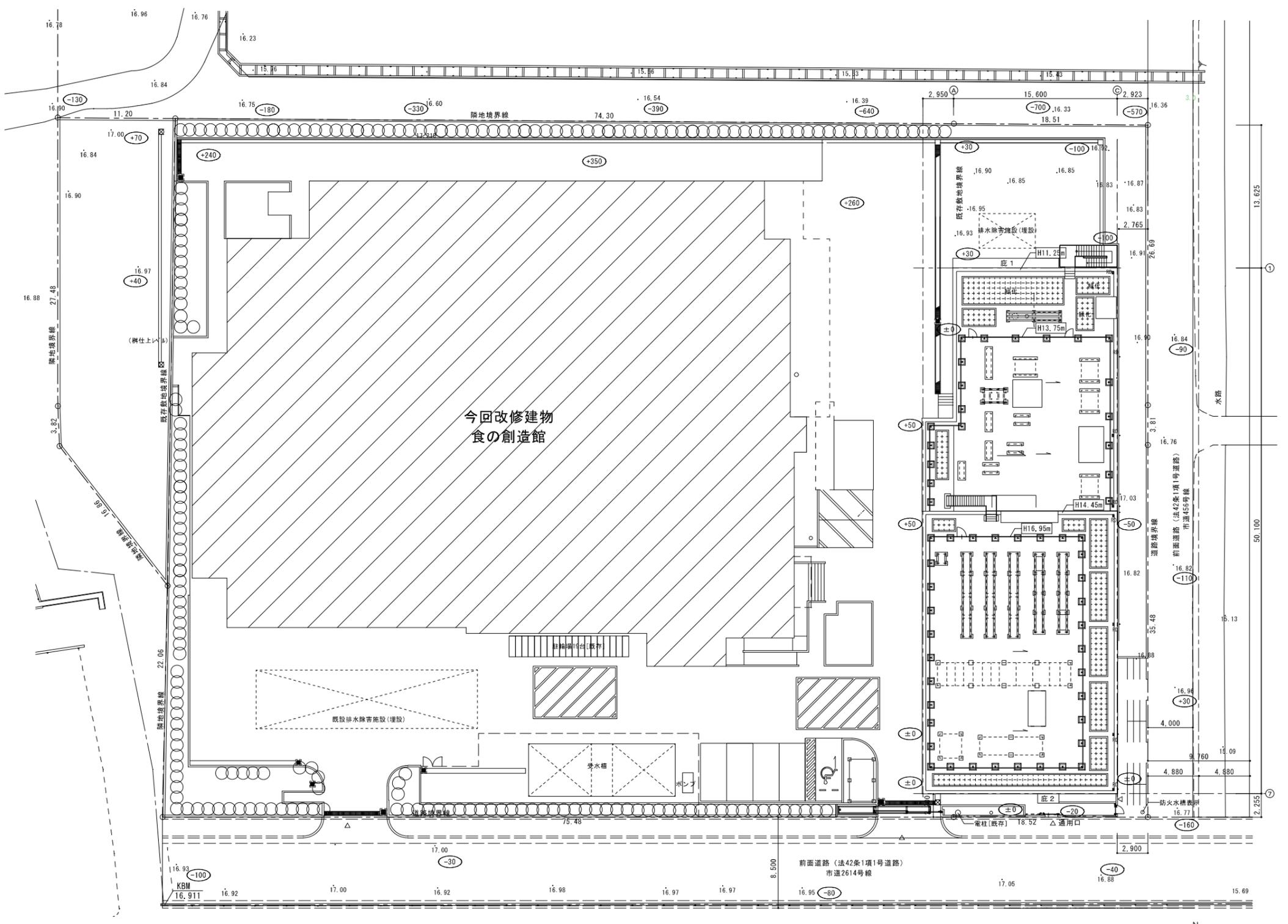
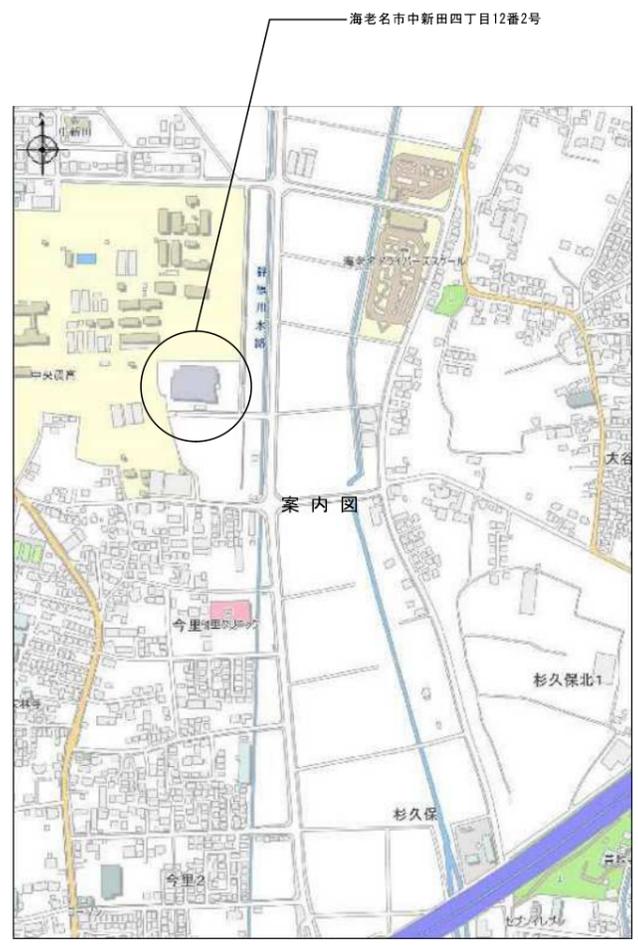
機械設備工事 別紙明細

食の創造館		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0004
マレブ#鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS) 撤去	10K(フランジ) 150A(外ねじ)	2	個			
減圧弁装置A 撤去	0.3MP 100-125 減圧弁100A, 逃し弁65A, Yストレーナ125A	1	組			
減圧弁装置B 撤去	0.2MP 100-125 減圧弁150A, 逃し弁65A, Yストレーナ150A	1	組			
減圧弁装置C 撤去	0.25MP 80-100 減圧弁80A, 逃し弁50A, Yストレーナ100A	1	組			
減圧弁装置D 撤去	0.3MP 80-100 減圧弁80A, 逃し弁50A, Yストレーナ100A	1	組			
減圧弁装置E 撤去	0.2MP 80-100 減圧弁80A, 逃し弁50A, Yストレーナ100A	1	組			
遮断弁装置100 撤去	手動ﾊﾞﾙﾌﾞのみ	3	組			
遮断弁100 撤去	取外し・再取付の上、撤去	3	個			
遮断弁装置125 撤去	手動ﾊﾞﾙﾌﾞのみ	1	組			
遮断弁125 撤去	取外し・再取付の上、撤去	1	個			
遮断弁装置150 撤去	手動ﾊﾞﾙﾌﾞのみ	1	組			
遮断弁150 撤去	取外し・再取付の上、撤去	1	個			
(HWT-1)						
温調弁装置50 撤去	手動ﾊﾞﾙﾌﾞのみ	2	組			

食の創造館		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温撤去		1	式			別紙 00-0006
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 150A	11	m			
(S0.25)						
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 100A	9	m			
(S0.3)						
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 100A	8	m			
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 125A	9	m			
(S0.7)						
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 50A	14	m			
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 150A	11	m			
(SR)						
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 25A	3	m			
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 40A	6	m			
蒸気管 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 50A	3	m			
【2階】						

機械設備工事 別紙明細

食の創造館		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温撤去		1	式			別紙 00-0006
メアアール鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 S0A	3	個			
(AH-1.2.3)						
電動二方弁装置 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	3	組			
【ボイラー室】						
(SH-1)						
メアアール鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板 100A	3	個			
メアアール鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板 125A	1	個			
メアアール鉄及び ダクタイル鉄玉形弁 (MDS)保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板 150A	2	個			
減圧弁装置A 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板	1	組			
減圧弁装置B 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板	1	組			
減圧弁装置C 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板	1	組			
減圧弁装置D 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板	1	組			
減圧弁装置E 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板	1	組			
遮断弁装置100 保温 撤去	ガラスウール 屋外露出 カラー亜鉛鉄板	3	組			



周波数は、50Hzとする。

Table with columns: 記号, 機器名称, 機器仕様, 電動機 (φ, V, kw), 台数, 設置場所, 備考. Includes items like TW-1 (受水槽), FM-1 (受水槽水位制御装置), PU-1 (加圧給水ポンプユニット), FP-1 (消火ポンプユニット), TF-1 (消火補給水槽), PHW-1, 2 (還水ポンプ), PHW-3, 4 (貯湯槽循環ポンプ), SB-1 (小型貫流ボイラー), CP-1 (集中管理制御盤), DP-1, 2, 3 (湧水排水ポンプ), and 湧水槽.

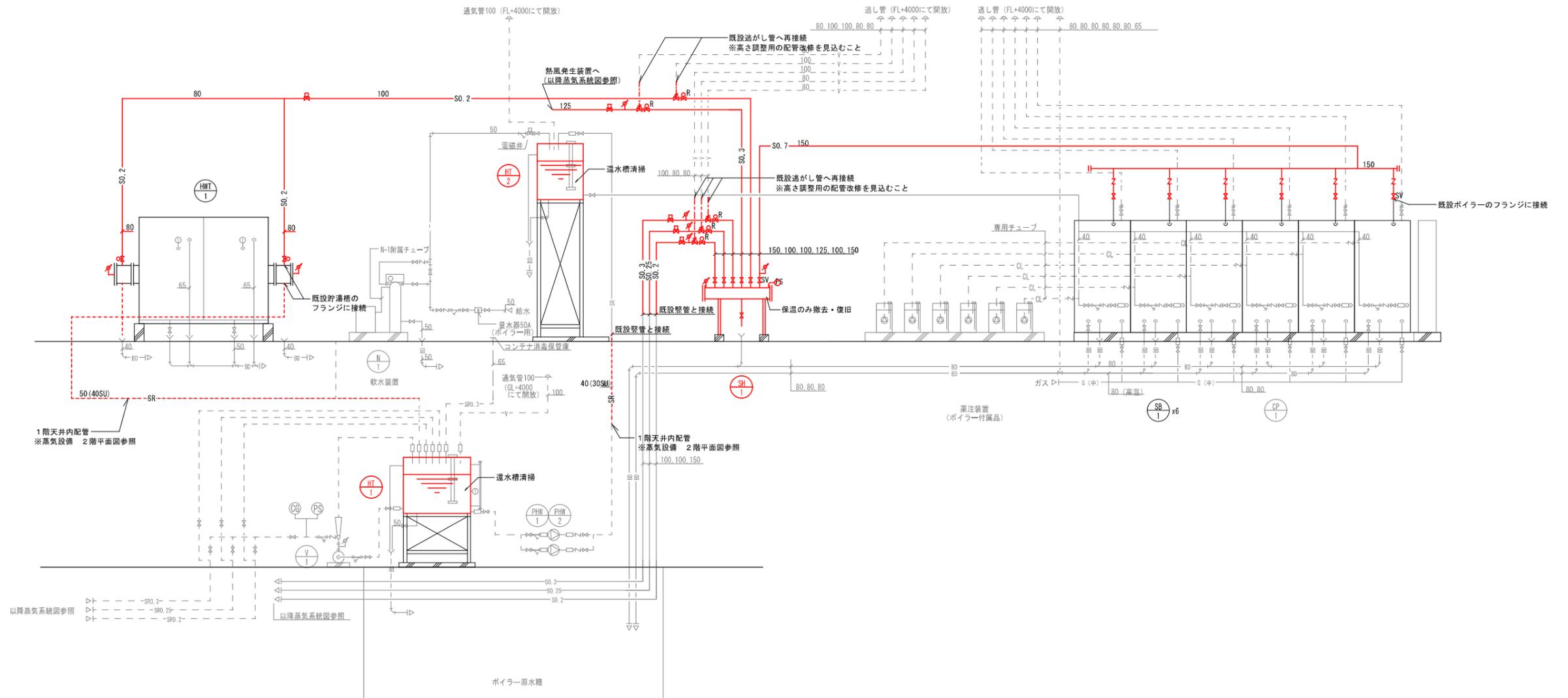
周波数は、50Hzとする。

Table with columns: 記号, 機器名称, 機器仕様, 電動機 (φ, V, kw), 台数, 設置場所, 備考. Includes items like HWT-1 (貯湯槽), HPU-1 (給湯加圧ポンプユニット), HT-1 (還水槽1), HT-2 (還水槽2), V-1 (ドレン回収ポンプ), N-1 (軟水器), SH-1 (蒸気ヘッダー), WHG-1 (ガス沸騰器), and EF-1 (排気ファン).

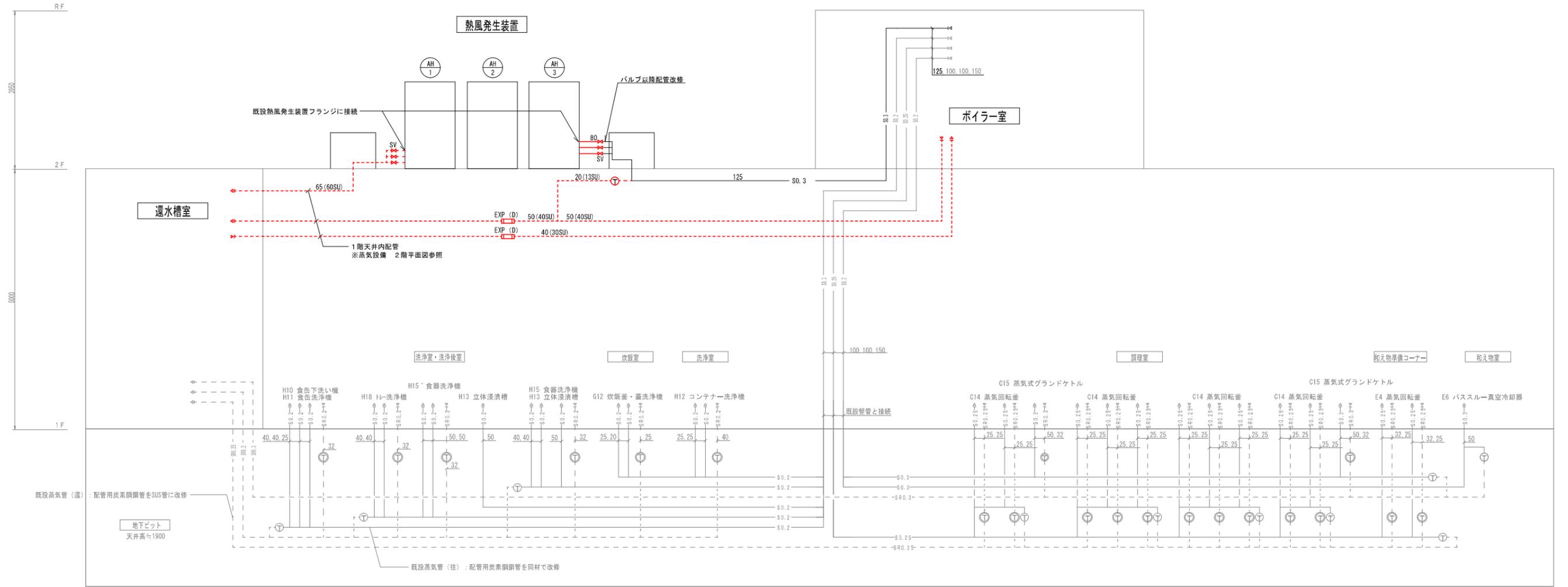
※赤書き部が今回改修範囲とする

凡例

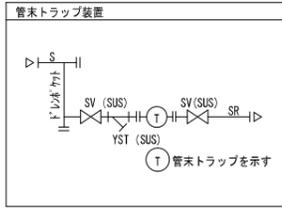
種類	記号	材質等	備考	種類	記号	材質等	備考
ドレン管	D	耐火二層管 (ピット内はRF-VP)		防振継手	□	合成ゴム製	
屋内給水管	- - -	塩ビライニング鋼管 (VB)		伸縮継手	EXP (S)	単式	
地中埋設給水管	- - -	塩ビライニング鋼管 (VD)		伸縮継手	EXP (D)	複式	
ピット内給水管	- - -	塩ビライニング鋼管 (VD)		ボールタップ	BT	・単式・複式	
屋内雑排水管	D	耐火二層管 (ピット内はRF-VP)		自動エア抜弁	AV		
高温厨房排水	HD	配管用炭素鋼鋼管 (白)		水栓類	▽	単水栓、混合栓、湯栓	
高油脂厨房排水	OD	耐火二層管 (ピット内はRF-VP)					
高油脂高温厨房排水	OHD	配管用炭素鋼鋼管 (白)		床上掃除口	⊕		
ボイラー排水	BD	配管用炭素鋼鋼管 (黒)		排水金物	⊙		
逃し管	V	配管用炭素鋼鋼管		間接排水口	⊙		
蒸気管 (往)	S0.1	配管用炭素鋼鋼管 (黒)	数値は、蒸気圧力を示す	通気金物	VC		
蒸気管 (還)	SR	配管用炭素鋼鋼管 (黒)	既存配管	遮断弁装置	⊗		
蒸気管 (還)	SR	一般配管用ステンレス鋼鋼管	改修配管	温開弁装置	⊗		
仕切弁	OV			三方弁装置	⊗		
玉形弁	SV			減圧弁装置	⊗		
逆止弁	OV						
ストレーナー	YST						
可とう継手	FJ	ステンレス製					



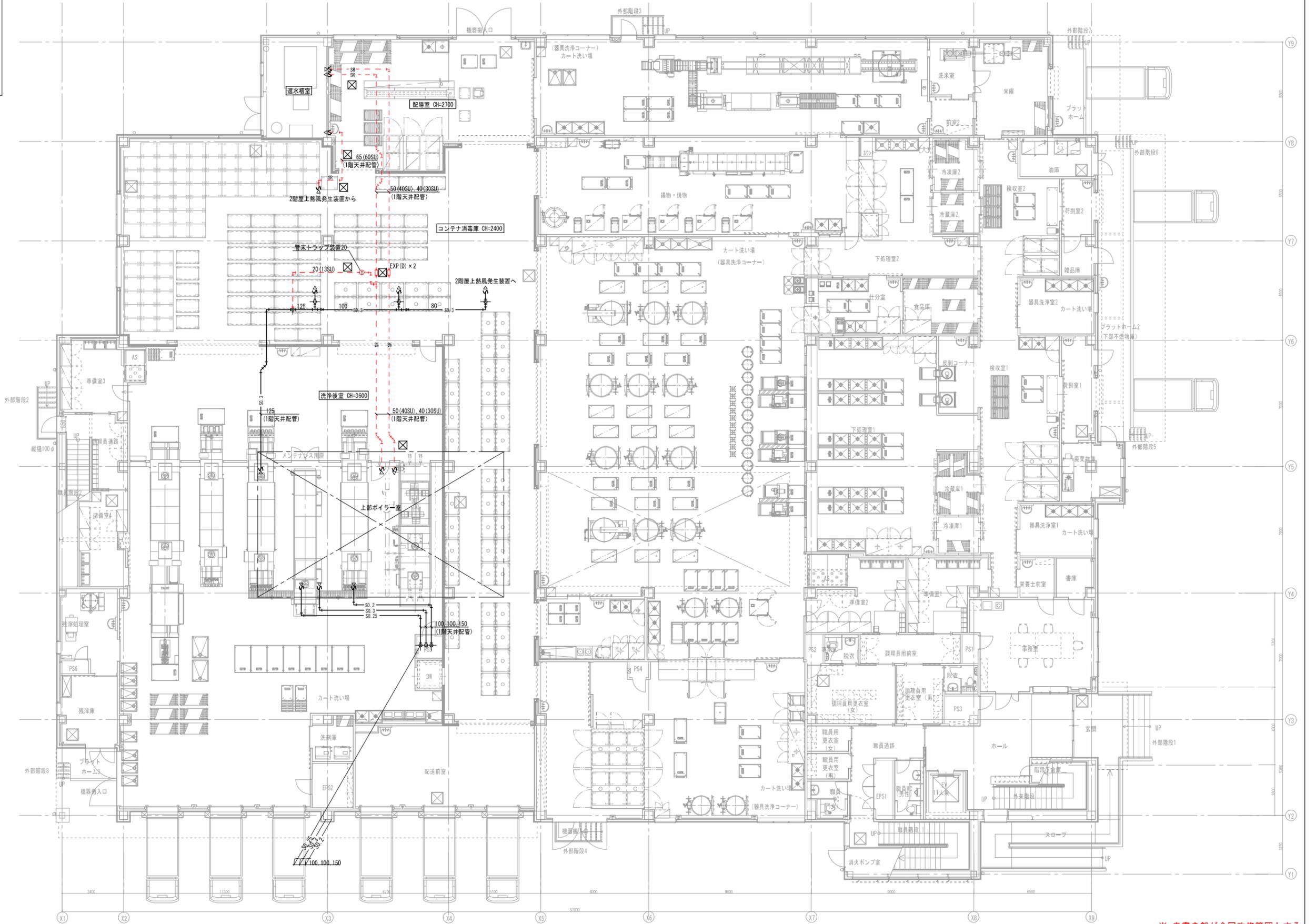
※赤書き部が今回改修範囲とする



※赤書き部が今回改修範囲とする

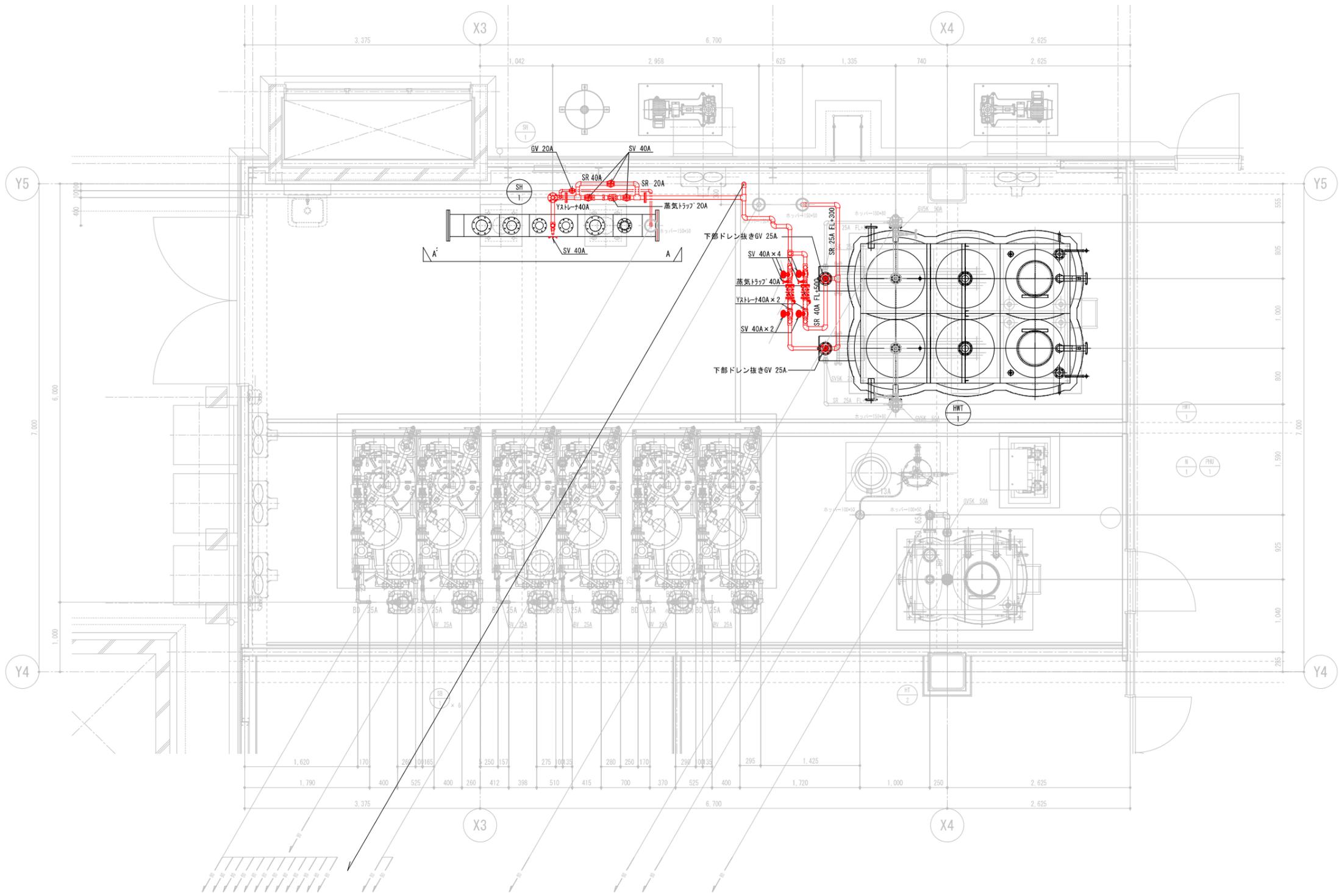


凡	例	名称
○		管末トラップ装置
⊗		既設天井点検口

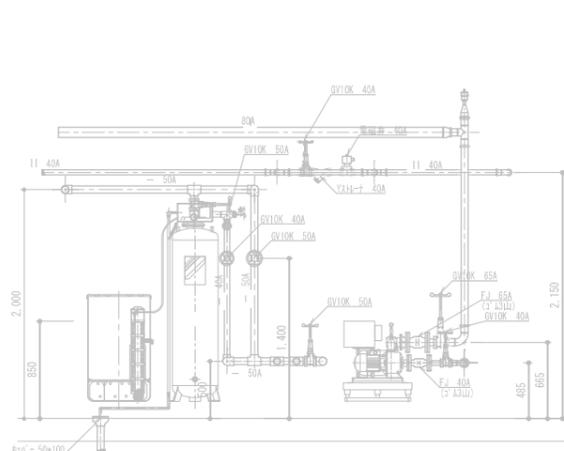


※ 赤書き部が今回改修範囲とする

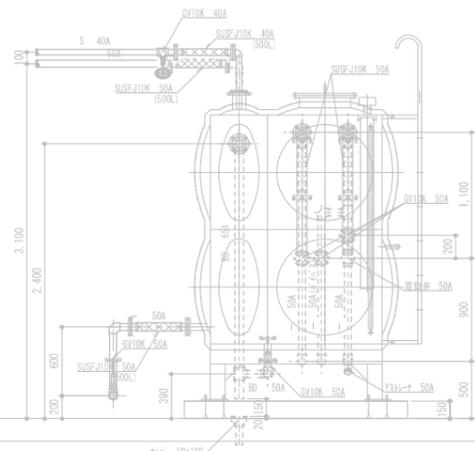
SH-1			WHT-1		
蒸気	GV20	1	蒸気	GV25	2
	SV40	4		SV40	6
	Yスト40	1		Yスト40	2
	蒸気トラップ 20	1		蒸気トラップ 40	2



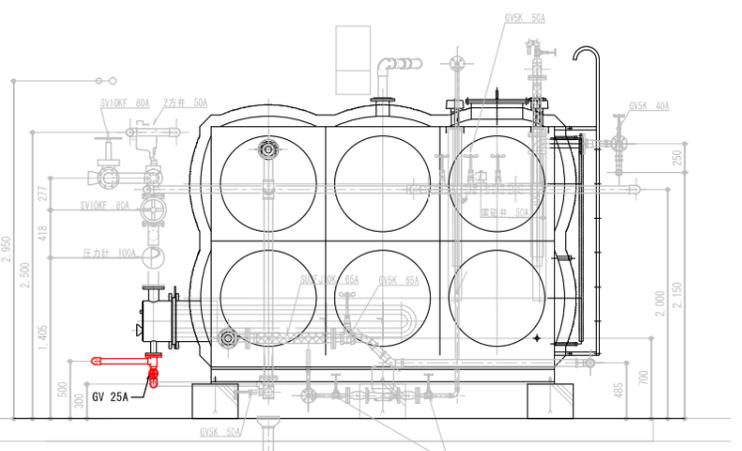
※蒸気管のバイパス配管は撤去のみとする
 ※赤書き部が今回改修範囲とする



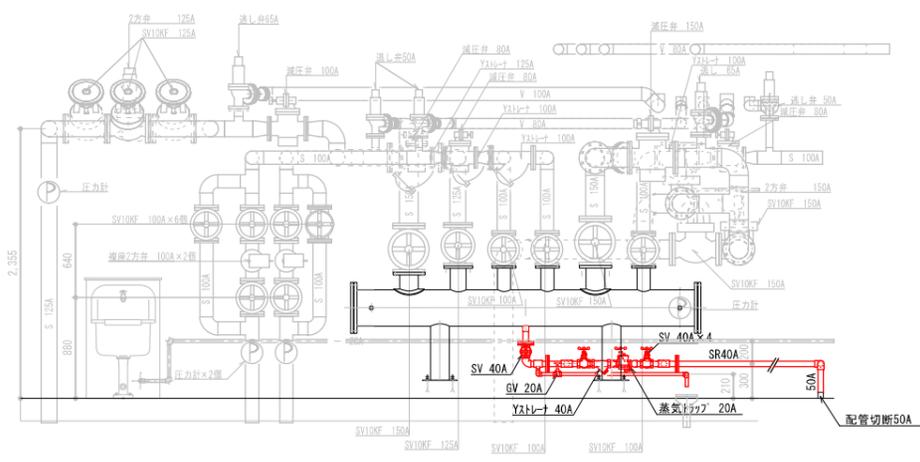
N-1・HPU-1立面图



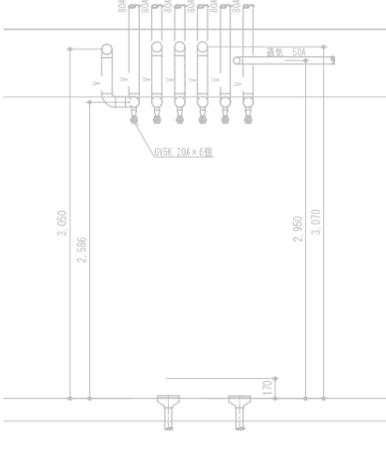
HT-2立面图



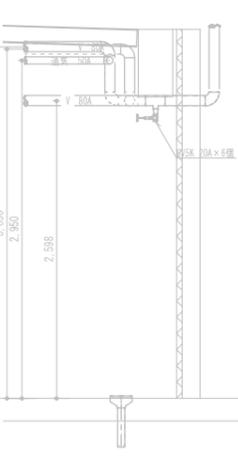
HWT-1立面图



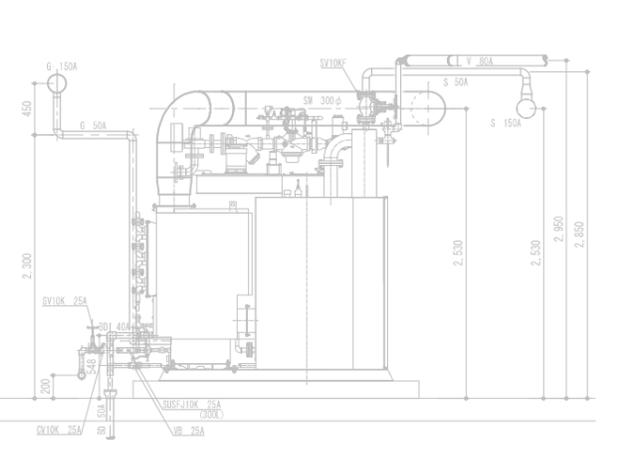
A-A断面图



B-B断面图



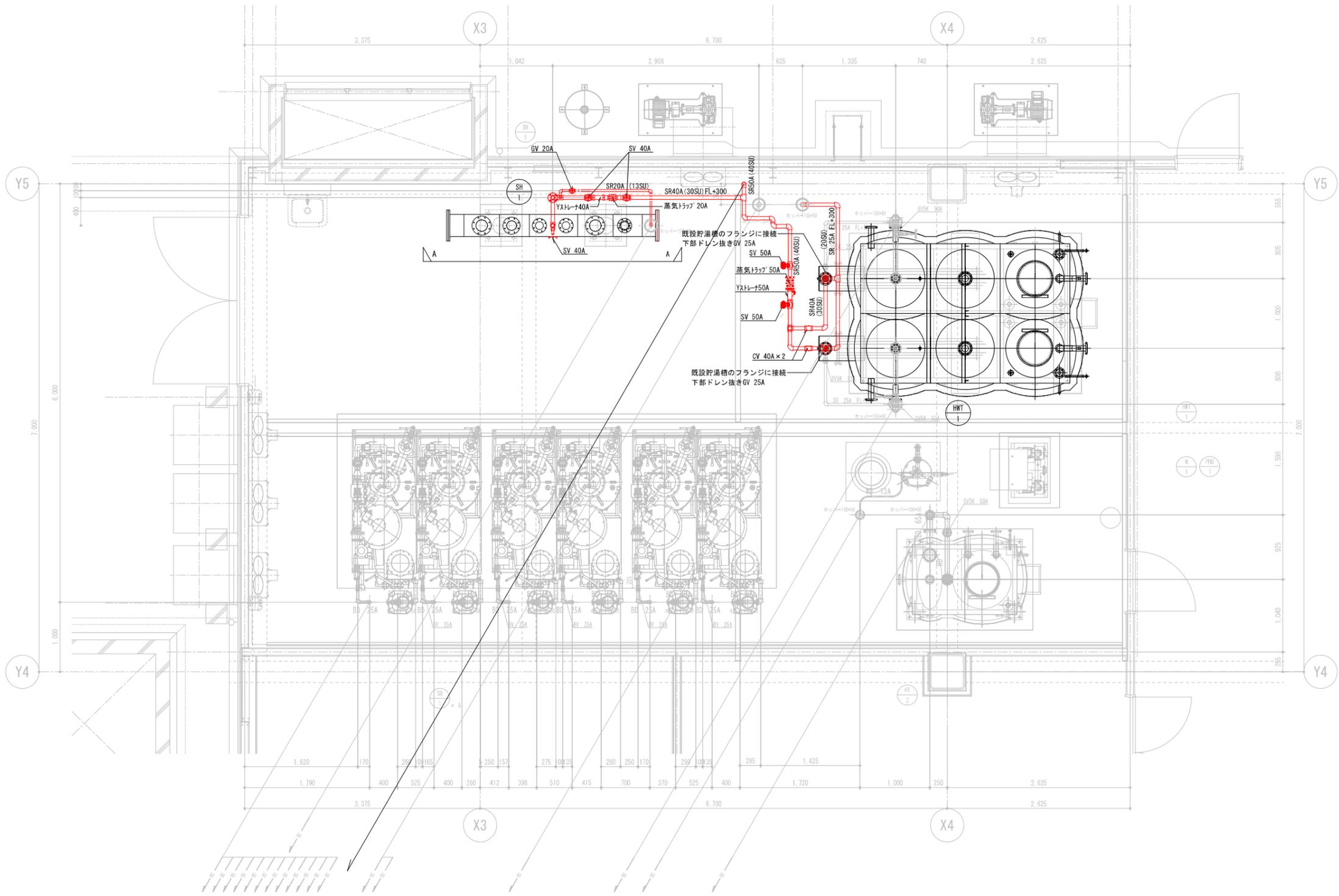
B''-B''断面图



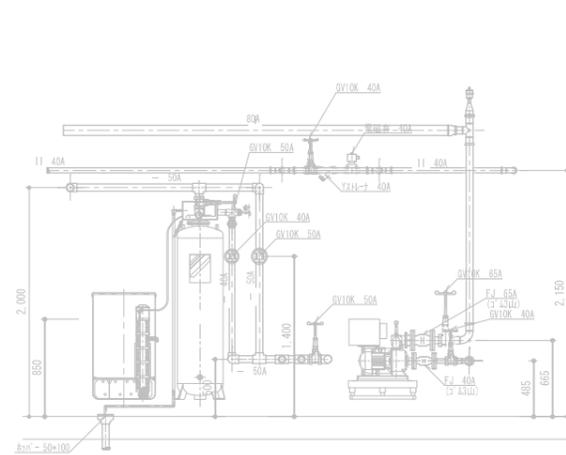
SB-1立面图

※蒸気管のバイパス配管は撤去のみとする
 ※赤書き部が今回改修範囲とする

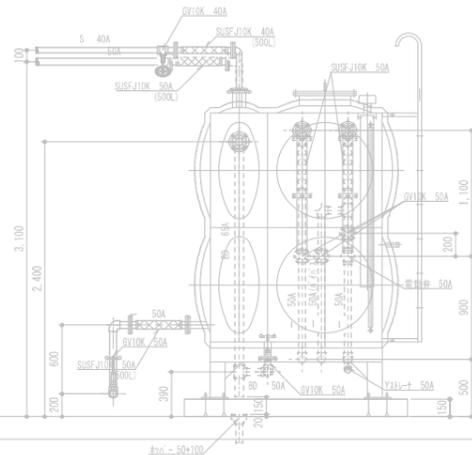
SH-1			WHT-1		
蒸気	GV20	1	蒸気	GV25	2
	SV40	3		SV50	2
	Yスト40	1		CV40	2
	蒸気トラップ 20	1		Yスト50	1
				蒸気トラップ 50	1



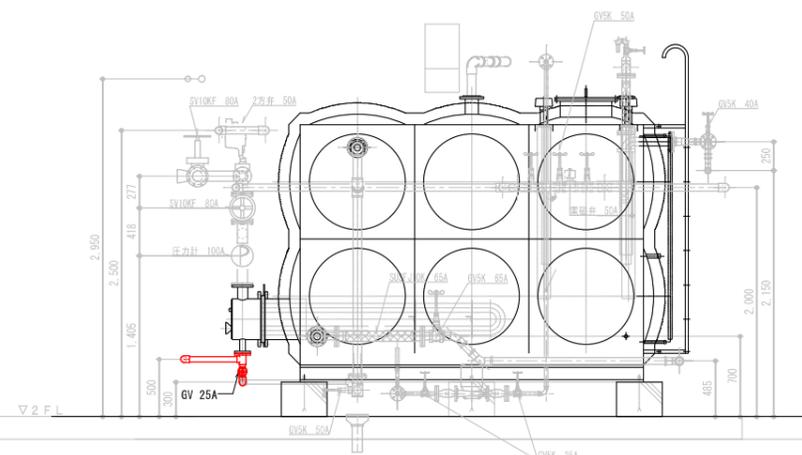
※赤書き部が今回改修範囲とする



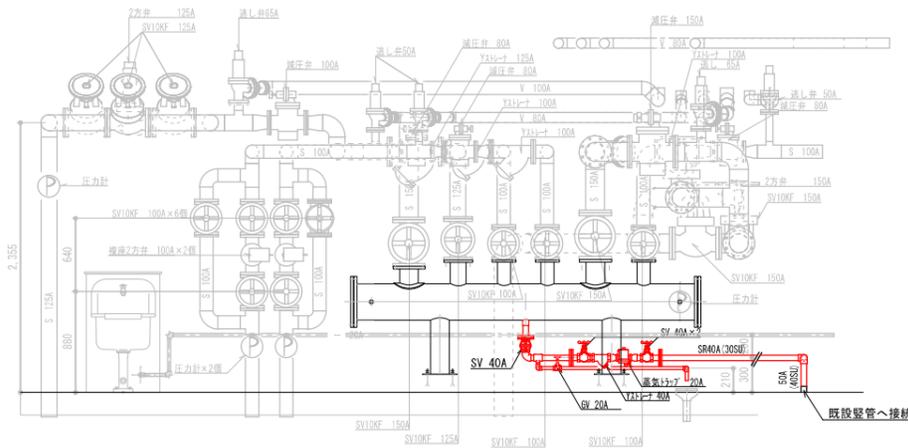
N-1・HPU-1立面图



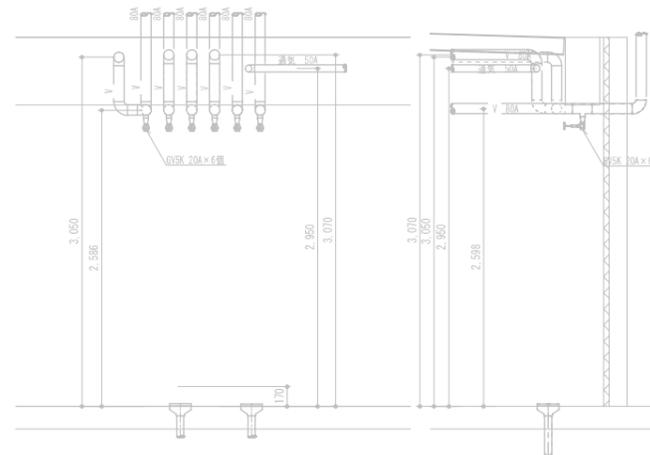
HT-2立面图



HWT-1立面图

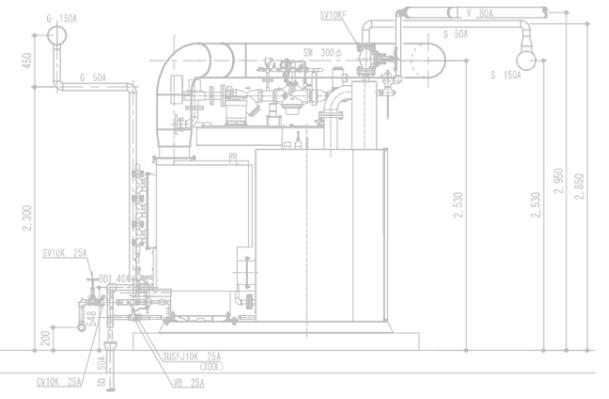


A-A断面图



B-B断面图

B''-B''断面图

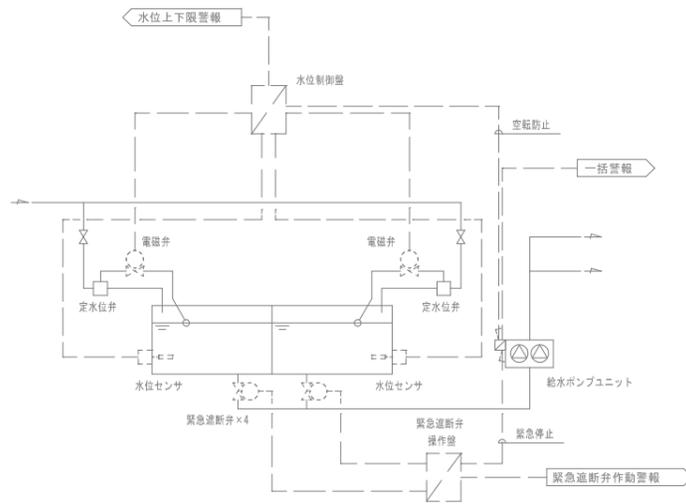


SB-1立面图

※赤書き部が今回改修範囲とする

受水槽制御 (1SET)

受水槽制御 1CP-2

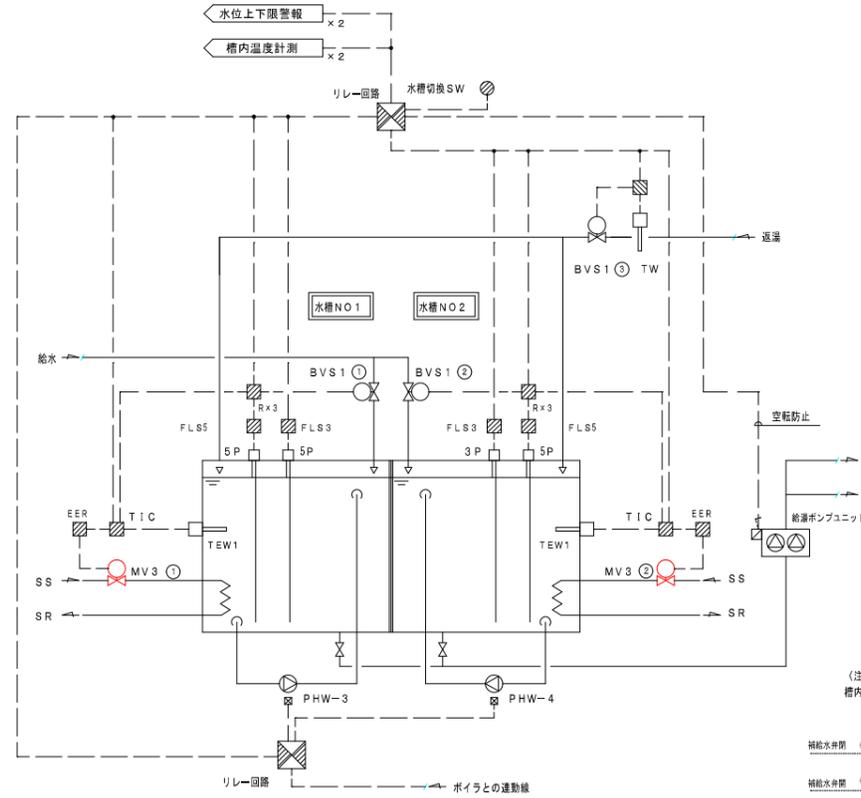


- (制御内容)
1. 補給水制御 (水位制御機能)
 - 1) 受水槽水位が所定水位になるよう補給水弁の2位置制御を行う。
 2. 給水ポンプ空転防止制御 (水位制御機能)
 - 1) 受水槽水位が低水位の場合は給水ポンプの空転防止制御を行う。
 3. 感震制御 (緊急遮断弁操作機能)
 - 1) 感震時、緊急遮断弁を全閉とし、給水ポンプを緊急停止させる。

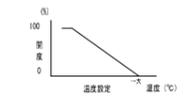
- (注記)
1. 電磁弁は衛生設備工事とする。
 2. 緊急遮断弁操作及び緊急遮断弁は衛生設備工事とする。
 3. 水位制御弁及び水位センサは衛生設備工事とする。

貯湯槽制御 (1SET)

貯湯槽制御 2CP-3

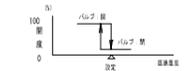


- (制御内容)
1. 貯湯槽内温度制御
 - 1) 貯湯槽内温度により蒸気2方弁の比例制御を行う。



2. 補給水弁制御
 - 1) 水槽水位および槽内温度により電動弁のON-OFF制御を行う。ただし、所定の水位以下の場合、貯湯槽内温度制御は禁止とし、強制的に補給を行う。

3. 還湯温度制御
 - 1) 還湯温度により電動弁のON-OFF制御を行う。



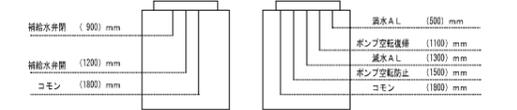
4. 切換スイッチにより水槽切換を行う。

	BVS1	BVS1	BVS1	MV3	MV2	PHW-3	PHW-4
水槽NO1	閉	閉	閉(許容)	閉	閉	ON	OFF
水槽NO2	閉	閉	閉(許容)	閉	閉	OFF	ON
同時	閉	閉	閉(許容)	閉	閉	ON	ON

※通常時はNo.1、No.2の水槽を同時使用とする。

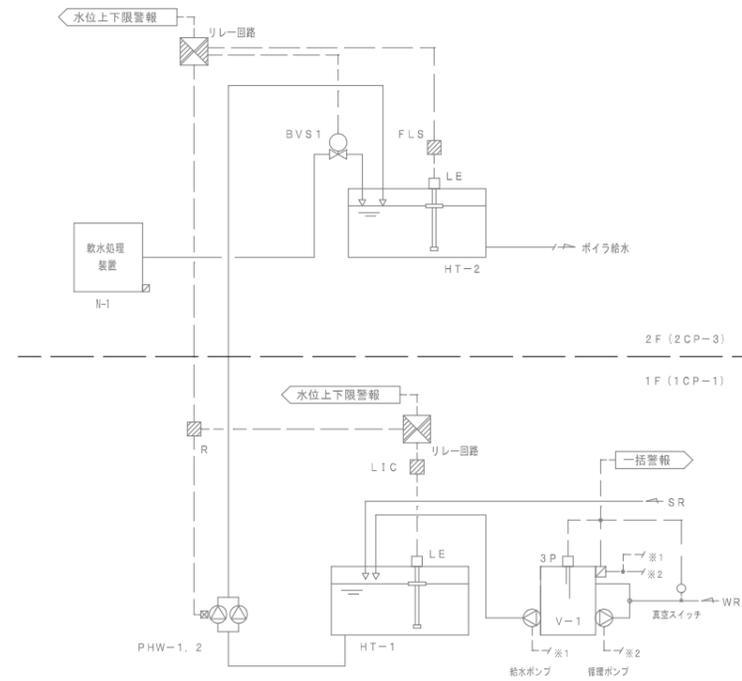
5. ボイラと連動して、循環ポンプのON-OFFを行う。

- (注記)
- 槽内温度異常は計測値に対して中央監視より異常値を設定する。



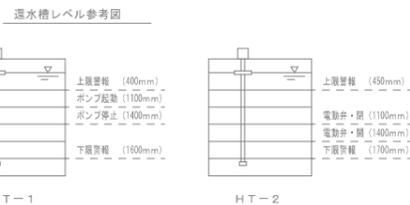
還水槽廻り制御 (1SET)

還水槽廻り制御 (1F) 1CP-1
還水槽廻り制御 (2F) 2CP-3



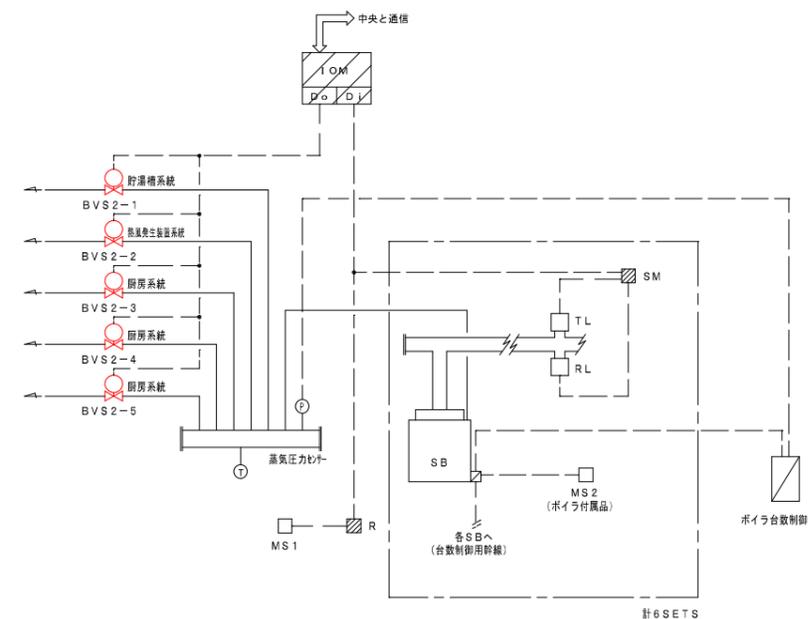
- (制御内容)
1. 補給水制御
 - 1) 還水槽水位 (HT-2) が所定水位になるよう補給水弁のON-OFF制御を行う。
 2. 還水ポンプ起動制御
 - 1) 還水槽水位 (HT-1) の水位にて還水ポンプの発信制御を行う。
 - 2) ※ポンプOFFがポンプONより低水位の為、ポンプの空転防止の監視は行わない。
 3. 停電時制御
 - 1) 商用電源停電時は補給水弁の緊急遮断動作を行う。

- (注記)
1. 給水ポンプの自動交互運転回路は、電気設備工事とする。
 2. V-1の配線工事はメーカ工事とする。但しV-1から真空スイッチへの配線は自動制御工事とする。



ボイラ廻り制御 (1SET)

ボイラ廻り制御 2CP-3

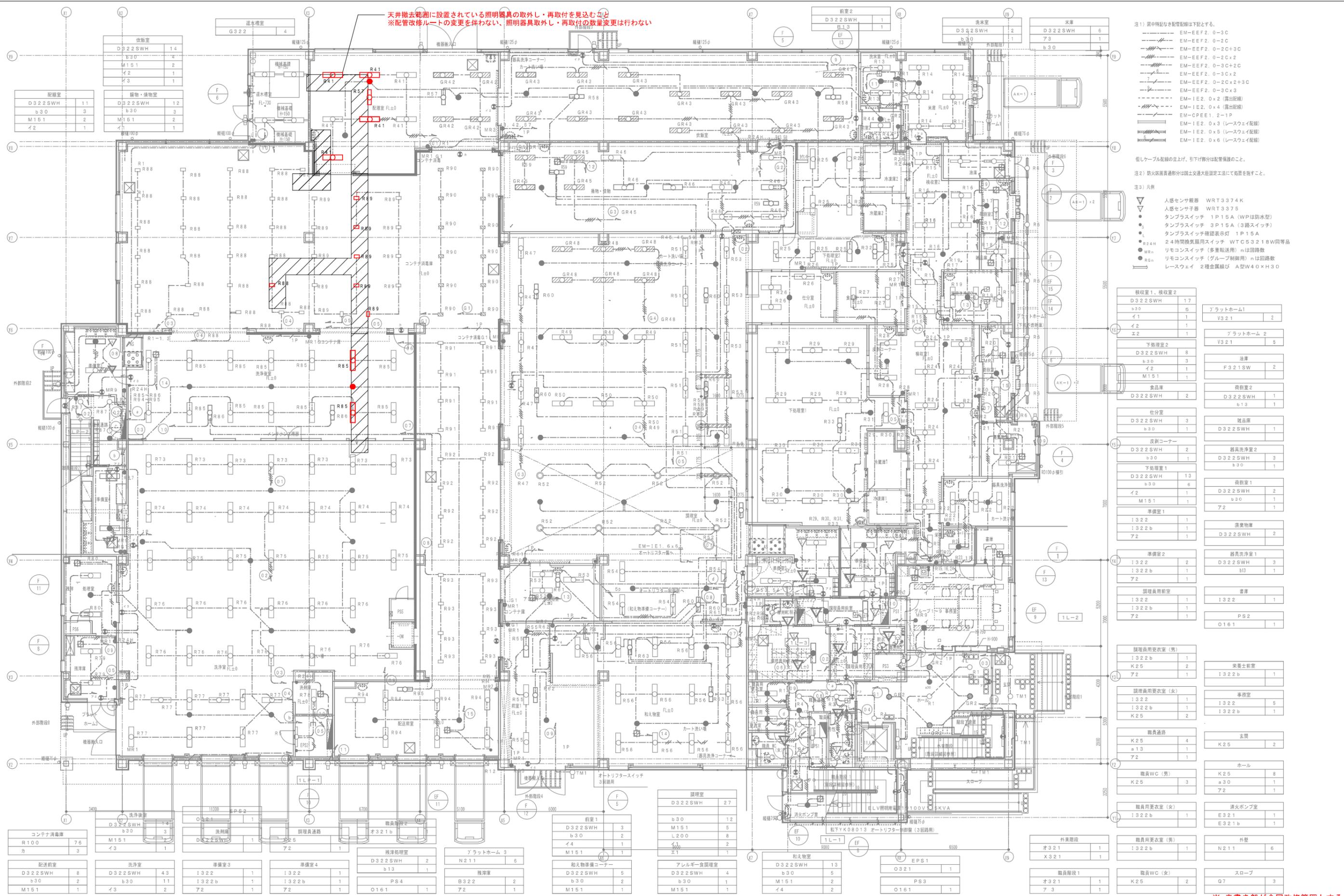


- (制御内容)
1. 感震制御
 - 1) 地震時、ボイラの緊急停止を行う。

- (中央と通信)
1. 蒸気遮断弁 ON-OFF
 2. 感震警報
 3. 煤煙濃度警報

- (注記)
1. ボイラの台数制御は、ボイラ付属とする。
 2. 蒸気圧センサーはボイラ付属とする。
 3. MS2センサーはボイラ付属とする。

天井撤去範囲に設置されている照明器具の取外し・再取付を見込むこと
※配管改修ルートの変更を伴わない、照明器具取外し・再取付の数量変更は行わない



- 注1) 要中特記な配管配線は下記とする。
- EM-EF2.0-3C
 - EM-EF2.0-2C
 - EM-EF2.0-2C+3C
 - EM-EF2.0-2C+2C
 - EM-EF2.0-3C+2C
 - EM-EF2.0-2C+2+3C
 - EM-EF2.0-3C+3
 - EM-IE2.0x2 (露出配線)
 - EM-CPEE1.2-1P
 - EM-IE2.0x3 (レスウェイ配線)
 - EM-IE2.0x5 (レスウェイ配線)
 - EM-IE2.0x6 (レスウェイ配線)

但しケーブル配線の上げ、引下げ部分は配管保護のこと。
注2) 防火区画通過部分は国土交通大臣認定工法にて処理を要すること。

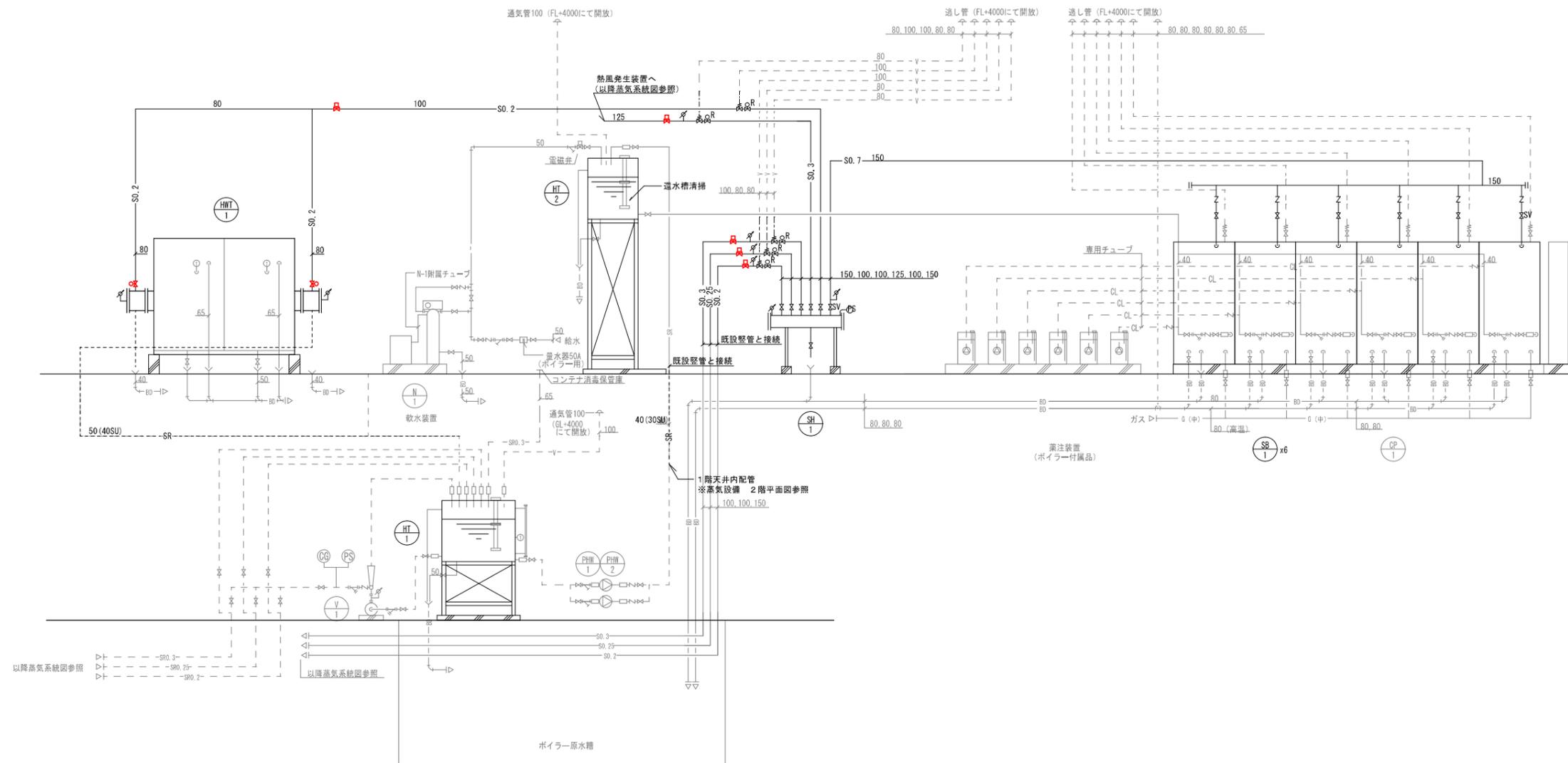
- 注3) 凡例
- △ 人感センサー WRT3374K
 - ▽ 人感センサー WRT3375
 - タンブラスイッチ 1P15A (WPは防水型)
 - タンブラスイッチ 3P15A (3路スイッチ)
 - タンブラスイッチ確認表示灯 1P15A
 - 24時間換気用スイッチ WTC53218W同等品
 - リモコンスイッチ (多量転送用) nは回路数
 - リモコンスイッチ (グループ制御用) nは回路数
 - レスウェイ 2種金属製 A型 W40xH30

<table border="1"> <tr><td>機材室1, 機材室2</td><td>D322SWH</td><td>17</td></tr> <tr><td>b30</td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td>イ1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>イ2</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>エ2</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	機材室1, 機材室2	D322SWH	17	b30		5	イ1		1	イ2		1	エ2		1	<table border="1"> <tr><td>フラットホーム1</td><td>V321</td><td>2</td></tr> </table>	フラットホーム1	V321	2			
機材室1, 機材室2	D322SWH	17																				
b30		5																				
イ1		1																				
イ2		1																				
エ2		1																				
フラットホーム1	V321	2																				
<table border="1"> <tr><td>下処理室2</td><td>D322SWH</td><td>8</td></tr> <tr><td>b30</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>イ2</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>M151</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	下処理室2	D322SWH	8	b30		3	イ2		1	M151		1	<table border="1"> <tr><td>フラットホーム2</td><td>V321</td><td>5</td></tr> </table>	フラットホーム2	V321	5						
下処理室2	D322SWH	8																				
b30		3																				
イ2		1																				
M151		1																				
フラットホーム2	V321	5																				
<table border="1"> <tr><td>食品庫</td><td>D322SWH</td><td>2</td></tr> </table>	食品庫	D322SWH	2	<table border="1"> <tr><td>油庫</td><td>F321SW</td><td>2</td></tr> </table>	油庫	F321SW	2															
食品庫	D322SWH	2																				
油庫	F321SW	2																				
<table border="1"> <tr><td>仕分室</td><td>D322SWH</td><td>3</td></tr> <tr><td>b30</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	仕分室	D322SWH	3	b30		1	<table border="1"> <tr><td>待合室2</td><td>D322SWH</td><td>1</td></tr> <tr><td>b13</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	待合室2	D322SWH	1	b13		1									
仕分室	D322SWH	3																				
b30		1																				
待合室2	D322SWH	1																				
b13		1																				
<table border="1"> <tr><td>皮剥きコーナー</td><td>D322SWH</td><td>2</td></tr> <tr><td>b30</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	皮剥きコーナー	D322SWH	2	b30		1	<table border="1"> <tr><td>器具洗浄室2</td><td>D322SWH</td><td>3</td></tr> <tr><td>b30</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	器具洗浄室2	D322SWH	3	b30		1									
皮剥きコーナー	D322SWH	2																				
b30		1																				
器具洗浄室2	D322SWH	3																				
b30		1																				
<table border="1"> <tr><td>下処理室1</td><td>D322SWH</td><td>13</td></tr> <tr><td>b30</td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td>イ2</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>M151</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	下処理室1	D322SWH	13	b30		6	イ2		1	M151		1	<table border="1"> <tr><td>待合室1</td><td>D322SWH</td><td>2</td></tr> <tr><td>b30</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>ア2</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	待合室1	D322SWH	2	b30		1	ア2		1
下処理室1	D322SWH	13																				
b30		6																				
イ2		1																				
M151		1																				
待合室1	D322SWH	2																				
b30		1																				
ア2		1																				
<table border="1"> <tr><td>準備室1</td><td>1322</td><td>1</td></tr> <tr><td>1322b</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>ア2</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	準備室1	1322	1	1322b		1	ア2		1	<table border="1"> <tr><td>清潔庫</td><td>D322SWH</td><td>2</td></tr> </table>	清潔庫	D322SWH	2									
準備室1	1322	1																				
1322b		1																				
ア2		1																				
清潔庫	D322SWH	2																				
<table border="1"> <tr><td>準備室2</td><td>1322</td><td>2</td></tr> <tr><td>1322b</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>ア2</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	準備室2	1322	2	1322b		1	ア2		1	<table border="1"> <tr><td>器具洗浄室1</td><td>D322SWH</td><td>3</td></tr> <tr><td>b10</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	器具洗浄室1	D322SWH	3	b10		1						
準備室2	1322	2																				
1322b		1																				
ア2		1																				
器具洗浄室1	D322SWH	3																				
b10		1																				
<table border="1"> <tr><td>調理員用前室</td><td>1322</td><td>1</td></tr> <tr><td>1322b</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>ア2</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	調理員用前室	1322	1	1322b		1	ア2		1	<table border="1"> <tr><td>書庫</td><td>1322</td><td>1</td></tr> <tr><td>PS2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>O161</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	書庫	1322	1	PS2			O161		1			
調理員用前室	1322	1																				
1322b		1																				
ア2		1																				
書庫	1322	1																				
PS2																						
O161		1																				
<table border="1"> <tr><td>調理員用更衣室(男)</td><td>1322b</td><td>1</td></tr> <tr><td>K25</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>ア2</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	調理員用更衣室(男)	1322b	1	K25		2	ア2		1	<table border="1"> <tr><td>家務士前室</td><td>1322b</td><td>1</td></tr> </table>	家務士前室	1322b	1									
調理員用更衣室(男)	1322b	1																				
K25		2																				
ア2		1																				
家務士前室	1322b	1																				
<table border="1"> <tr><td>調理員用更衣室(女)</td><td>1322</td><td>1</td></tr> <tr><td>1322b</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>K25</td><td></td><td>2</td></tr> </table>	調理員用更衣室(女)	1322	1	1322b		1	K25		2	<table border="1"> <tr><td>事務室</td><td>1322</td><td>5</td></tr> <tr><td>1322b</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	事務室	1322	5	1322b		1						
調理員用更衣室(女)	1322	1																				
1322b		1																				
K25		2																				
事務室	1322	5																				
1322b		1																				
<table border="1"> <tr><td>職員通路</td><td>K25</td><td>4</td></tr> <tr><td>a13</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>ア2</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	職員通路	K25	4	a13		1	ア2		1	<table border="1"> <tr><td>玄関</td><td>K25</td><td>2</td></tr> </table>	玄関	K25	2									
職員通路	K25	4																				
a13		1																				
ア2		1																				
玄関	K25	2																				
<table border="1"> <tr><td>職員WC(男)</td><td>K25</td><td>3</td></tr> </table>	職員WC(男)	K25	3	<table border="1"> <tr><td>ホール</td><td>K25</td><td>8</td></tr> <tr><td>a30</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>ア2</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	ホール	K25	8	a30		1	ア2		1									
職員WC(男)	K25	3																				
ホール	K25	8																				
a30		1																				
ア2		1																				
<table border="1"> <tr><td>職員用更衣室(女)</td><td>1322b</td><td>1</td></tr> </table>	職員用更衣室(女)	1322b	1	<table border="1"> <tr><td>湯火ポンプ室</td><td>E321</td><td>1</td></tr> <tr><td>E321b</td><td></td><td>1</td></tr> </table>	湯火ポンプ室	E321	1	E321b		1												
職員用更衣室(女)	1322b	1																				
湯火ポンプ室	E321	1																				
E321b		1																				
<table border="1"> <tr><td>職員用更衣室(男)</td><td>1322b</td><td>1</td></tr> </table>	職員用更衣室(男)	1322b	1	<table border="1"> <tr><td>外壁</td><td>N211</td><td>6</td></tr> </table>	外壁	N211	6															
職員用更衣室(男)	1322b	1																				
外壁	N211	6																				
<table border="1"> <tr><td>職員WC(女)</td><td>K25</td><td>2</td></tr> </table>	職員WC(女)	K25	2	<table border="1"> <tr><td>スロープ</td><td>Q7</td><td>3</td></tr> </table>	スロープ	Q7	3															
職員WC(女)	K25	2																				
スロープ	Q7	3																				

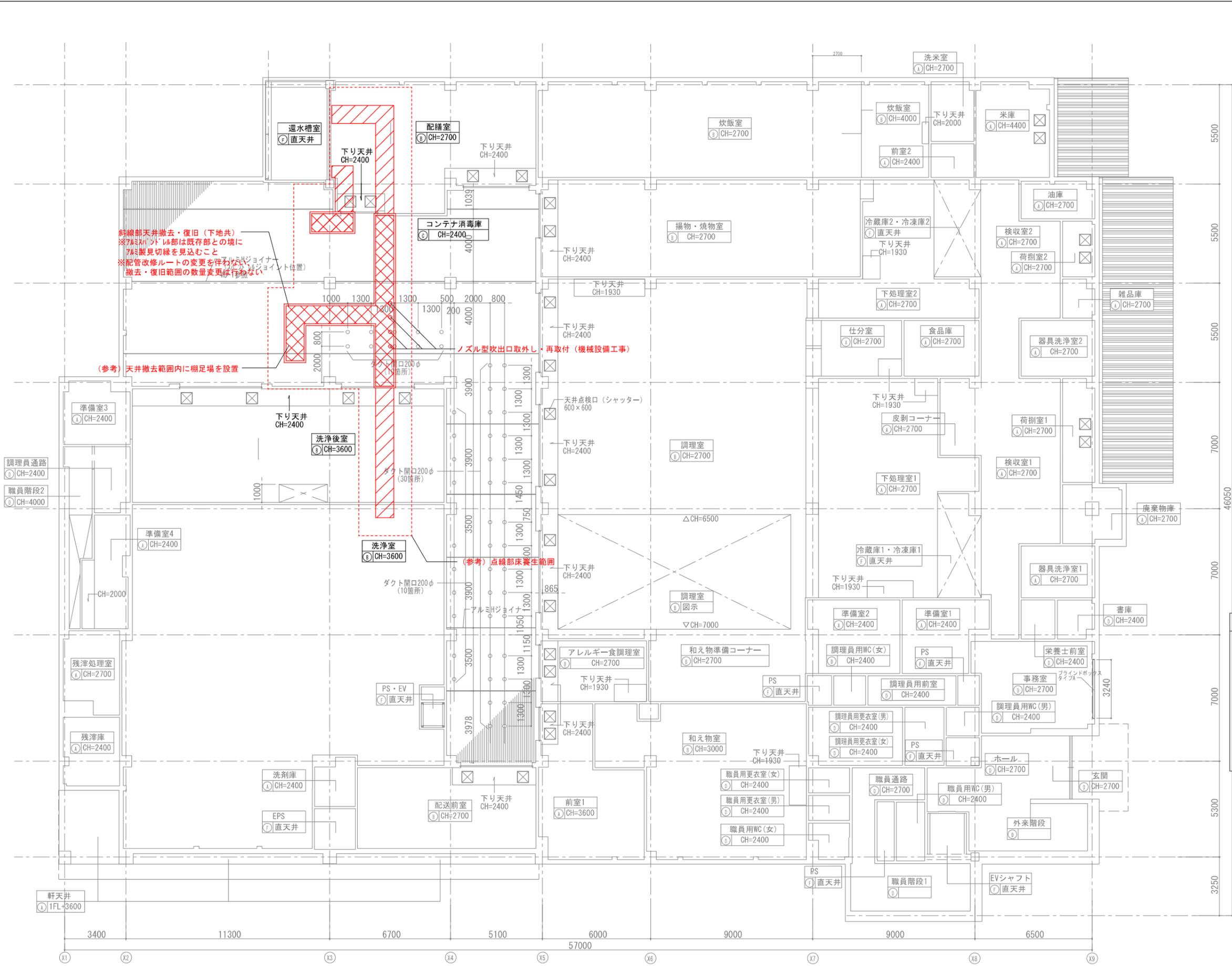
※ 赤書き部が今回改修範囲とする

凡例

種類	記号	材質等	備考	種類	記号	材質等	備考
ドレン管	D	耐火二層管 (ビツ内はRF-VP)		防振継手	□	合成ゴム製	
屋内給水管	- - -	塩ビライニング鋼管 (VB)		伸縮継手	EXP (S)	単式	
地中埋設給水管	- - -	塩ビライニング鋼管 (VD)		伸縮継手	EXP (D)	複式	
ビツ内給水管	- - -	塩ビライニング鋼管 (VD)		ボールタップ	BT	・単式・複式	
屋内雑排水管	D	耐火二層管 (ビツ内はRF-VP)		自動エア抜弁	AV		
高温厨房排水	HD	配管用炭素鋼鋼管 (白)		水栓類	▽	単水栓、混合栓、湯栓	
高油脂厨房排水	OD	耐火二層管 (ビツ内はRF-VP)					
高油脂高温厨房排水	OHD	配管用炭素鋼鋼管 (白)		床上掃除口	⊕		
ボイラー排水	BD	配管用炭素鋼鋼管 (黒)		排水金物	⊙		
逃し管	V	配管用炭素鋼鋼管		間接排水口	⊙		
蒸気管 (往)	SO.1	配管用炭素鋼鋼管 (黒)	数値は、蒸気圧力を示す	通気金物	VC		
蒸気管 (還)	SR	配管用炭素鋼鋼管 (黒)	既存配管	遮断弁装置	⊕		
蒸気管 (還)	SR	一般配管用ステンレス鋼鋼管	改修配管	温開弁装置	⊕		
仕切弁	OV			三方弁装置	⊕		
玉形弁	SV			減圧弁装置	⊕		
逆止弁	OV						
ストレーナー	YST						
可とう継手	FJ	ステンレス製					



※電動弁の電源・制御線の取外し・再取付を見込むこと
 ※赤書き部が今回改修範囲とする



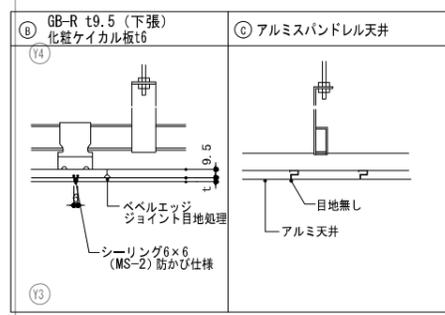
■天井仕上・造作物凡例

(A)	ケイ酸カルシウム板 t6.0 防カビ塗装
(B)	化粧ケイ酸カルシウム板t6.0
(C)	アルミスバンドレルt0.8 巻き幅105
(D)	化粧石膏ボードA
(E)	欠番
(F)	直天井
(G)	直天井+ガラスウールボードt50

□	カーテンBOX
□	スクリーンBOX S.B. エレメント図CH-4(巾=300)
AL1	アルミ見切 エレメント図CH-6
AL2	アルミ結露受 エレメント図CH-2
PL	ピクチャーレール エレメント図CH-3

■天井電気設備開口(1階)

シンボル	種別	サイズ	1階個数
□	FHF32W×2	□220×1235	23
○	人感センサー	φ70	5
◎	ダウンライト	φ100	27
⊕	監視カメラ	φ120	1
⊕	ダウンライト	φ150	26
⊙	スピーカー	φ200	24



※ 赤書き部が今回改修範囲とする